

学校・家庭・地域が一体となった 体力向上の推進

茨城県立
みほ
美浦養護学校
全校児童生徒数220名
(男子153名 女子67名)

実践内容

実施目的

- ①学校での授業や部活動にとどまらず、家庭生活や余暇活動等の子どもの生活全体を通して児童生徒の体力向上を図る。
- ②遊びやレクリエーション等様々な活動に楽しく主体的に取り組み、多様な生活経験を積むことで自然な体力の向上を促す。
- ③自主的に意識して運動することが困難とされる本校の児童生徒に、意欲的に、主体的に運動に取り組む機会を保障する。

実施内容

1 夏休みのPTA主催によるプール開放事業

夏季休業中のプール開放事業をPTA主催にすることで、保護者が夏季休業中の児童生徒の生活を充実させる方法を考える契機となりました。ここから発展して特別支援学校に通う児童生徒の卒業後の余暇の過ごし方を考える機会にもなり、保護者の意識も高まって、学校主催でプール開放をしていた頃より利用者が増加しています。

2 本校地区PTAの概要

(1) 本校の地区PTA活動の目標

障害の有る無しにかかわらず、地域でともに生きていく「ノーマライゼーション」の考えを目標に、平成14年度の学校完全週5日制を契機に、児童生徒の通学区域（稲敷市、牛久市、龍ヶ崎市、利根町、河内町、阿見町、美浦村）に分かれて活動に取り組んでいます。

(2) 保護者・教職員・地域ボランティアの役割

活動内容の企画やボランティアの手配・施設の借用手続きなどは保護者が行っています。教職員全員が担当地区をもち、教職員ボランティアとして活動に参加して運営の補助をし、地域住民やスクールサポーターも保護者の要請を受けボランティアとして活動に参加しています。

3 地区PTAによるレクリエーション活動

(1) 活動における態度

地区PTA活動の目的は楽しむことであり、体育的な活動も、訓練的にならず楽しめるようにしています。

(2) 具体的な活動例

- ①ミニ運動会では、リズム体操・パラバルーンなどの体ほぐしの運動や、ミニハードルリレー・しっぽとり鬼などの競技性のある団体種目を行っています。
- ②笠松運動公園のスケートリンクを貸し切ってスケート体験を行いました。長靴やいすで滑ることができたので、スケート経験のない子どもや運動の難しい子どもでも、スケートを楽しむことができました。

(3) 活動にあたっての地域社会の対応

障害のある子どもは、初めての場所や騒がしい所などが苦手で、その場に入れないことや、大声をあげてしまうことがあるため、家族での外出を敬遠してしまうことが多く、社会経験が不足しがちです。地区PTA活動は、家族にみんなと一緒という安心感が生まれ、また、地域の方や教員がボランティアで入ることで、保護者だけでは手の届かないところも支援でき、子どもたちも落ち着いて参加できます。また、公共の社会教育施設・体育施設だけでなく、民間の体育・娯楽施設も障害者に理解を示してくれる所が増えてきています。そのため、子どもたちも落ち着いた気持ちで、社会的なマナーを守って活動に参加することができています。地区PTAの活動により、運動機会のみならず、社会参加の機会も保障できるようになっています。

実施上で工夫したこと

特別支援学校では、目標や意識をもった運動が難しい児童生徒が多いので、ゲーム大会やボウリング・ポニー乗馬体験など児童生徒の興味を引く活動を計画することで、意欲的に運動に取り組めるように努めました。

主な成果

- ①地区PTA活動を通して、子どもの体力は体育の授業だけではなく、生活全般を通して向上するという理解が保護者間に広まりました。
- ②ゲームに熱中するうちに全力疾走していたり、散歩で景色を楽しむうちに長い距離を歩いていたなど、自然に児童生徒の豊富な運動量を確保することができました。
- ③児童生徒と保護者自身の楽しみを第一に計画することで、児童生徒に「またやりたい」「もっとやりたい」という継続的な運動への意欲をもたせることができました。

●学校経営方針と体力向上の取組

本校では「めざす学校像」の一つとして「健康で安全に学校生活ができ、清潔で整備された学校」をあげています。

また、平成23年度の重点項目及び重点目標のうち、「体力づくり等を推進し、健康の維持増進を図るとともに、放課後活動等の充実に努める」の具現化のための方策として「実態に応じた体力づくりの推進」「スポーツ活動や文化活動等への推進」をあげ、体育の授業や課外活動、部活動の中で個に応じた体力づくりに取り組んでいます。



PTAによるプール開放

本校プールで水遊びを楽しむ様子

	開放日数 (日)	延べ 利用者数(人)	1日あたりの平均 利用者数(人)
H19	18	447	25
H20	16	261	16
H21	13	145	11
H22	16	297	19
H23	15	218	14

夏季プール開放利用者数の増減

PTA主催となった平成22年度に減少傾向に歯止めがかかる(今年度は震災の影響でやや減少)



地区PTAのレクリエーション①

本校プレイルームでのゲーム大会



地区PTAのレクリエーション②

親子でボウリングを楽しむ様子



地区PTAのレクリエーション③

地域の公民館でのクリスマス会



地区PTAのレクリエーション④

親子遠足でスケートを楽しむ様子

- ・(前略) スケート体験は初めてだったので、最初は不安なこともたくさんありましたが、いざリンクに入ると最初はおっかなびっくりだった子どもたちもいすを押してもらったりパイロンにつかまったりして、すぐにリンクを回ることができるようになりました。皆さん、笑顔で楽しそうに滑っていました。付き添いの保護者の方々は体力をつかう体験でしたが、ボランティアで参加してくださった先生方の協力もあり楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。(スケート体験)
- ・民間のボウリング場の経営者は、障害のある児童生徒に対しての理解が深く、スタッフの柔軟な対応のおかげで、当日の進行はとてもスムーズに行えた。(親子ボウリング大会)
- ・うまく投げられないお子さんはボールスロープをお借りしてプレーすることができました。親子でのボウリングはなかなか機会がないので久しぶりに有意義に過ごすことができました。(親子ボウリング大会)

地区PTA 活動を終えての保護者の感想